

2017/10/9/-10/15

デボーションガイド 「ユースマナ」

詩篇 27:4

私は一つのことを主に願った。
私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。

2017/10/9(月)

ヨハネ 19:17-30

主イエスは兵士たちに引き渡され、十字架につけられました。人の罪は神の御子であるイエスを退け、憎み、殺すまでに至ったのです。そしてこのような罪、自分の思いと判断の方が正しいとし、神に反発し敵対する罪人の姿を私たちはみな持っています。
イエスは最後に「完了した」と言って、息を引き取られました。この時神殿の幕は真っ二つに裂け、至聖所(旧約の時代、最も神様に近づく場所)に入る隔ての幕が取りのけられたのです。年に一度、大祭司しか入ることのできなかった至聖所に、今は誰もがイエスを通して入ることができます。救いのみわざは、イエスによって完了し、私たちの側で付け足さなければならないものは何もありません。
救いはただ一方的な神様の憐れみと恵み、愛によるものです。今、神様の前に進み出て感謝を捧げよう。

2017/10/10(火)

ヨハネ 19:31-42

神様の大切な役割がきみにもある事を知っているかな??
34 節の血と水が出たというのはイエス様は、十字架に架かって本当に死んだ事を現しているよ。イエス様は私達の罪の真っ只中で、嘘の裁判や鞭を受けても文句を言わず、私達の身代わりとして本当に死んで下さったんだ。それは、私達が罪から解放されて、新しい命によって生きるためだよ!!それが神様の計画なんだ!!ニコデモとアリマタヤのヨセフは隠れた弟子だったけど、この時はしっかりと信仰を現して、神様の大切な役割を果たしたんだ。
私達は神様の大きな計画の中に生きているよ!だからこそ、しっかりと信仰に立って神様の大切な役割を果たしていこう!!

2017/10/11(水)

ヨハネ 20:1-10

イエスの埋葬は、安息日が迫っていたため、慌ただしく執り行われたのだろう。マグダラのマリヤは安息日が明けた日の早朝、あらためて丁寧にイエスの遺体の処置をし、最後の別れをするため、イエスの葬られた墓に来た。ところが、塞いでいた石はとりのけられ、中にイエスの遺体はなかった。
それを女性たちから聞いたペテロとヨハネも墓に行き、亜麻布と頭に巻かれていた布だけが残っているのを見た。そして イエスが生前言っておられたことを思い起こして、イエスの復活を信じた。
私たちも、イエス様のよみがえりを信じている。そして、主によってすべての罪が赦され、滅びるものから永遠のいのちを持つ者へと変えられた。
主への感謝と喜びを、祈ろう。

2017/10/12(木)

ヨハネ 20:11-18

ペテロとヨハネが去った後もマグダラのマリヤは墓の前で泣いていた。その時、「なぜ泣いているのですか?」というこえが、かけられた。マリヤのすぐ後ろにいたのは主であった。しかし、マリヤにはそれがわからず、悲しみのあまりに泣いていた。いつの時も主は共におられる。しかし、そのことに気付かずに、泣いたり、恐れたり、怒ったり、落ち込んだりすることが私たちにはたくさんある。
「マリヤ」と呼びかける声は、悲しみを一瞬の内に喜びに変えた。それは聞きなれた親しい声だったからである。神様は私たちの側にいつもおられる。その事をしっかりと覚え、感謝しよう!!

2017/10/13(金)

ヨハネ 20:19-31

キリストが復活し弟子たちに会った時に言った言葉は「平安があなたがたにあるように」だった。それはこの世の罪と汚れと争いに恐れる私達にとって1 番必要な事です。平安とは何があってもイエスがいるから大丈夫という安心です。その平安をあなたは受け取っていますか?
そしてキリストが「聖霊を受けなさい」と言ったのは、聖霊によって私達が罪を告白し許され、神様と良い関係になっていくためでした。
つまり私達には聖霊がなければ多くの事が出来ません。
キリストが死に打ち勝った喜びと、聖霊を受け取ります。と祈ろう!
今日も一日平安があなたにあるように!

2017/10/14(土)

ヨハネ 21:1-14

弟子たちがガリラヤへ行き、漁に出た時のことが書かれているね。
その時彼らは魚を取ることができなかったけど、主は舟の右側に網を下ろしなさい。と言われた。すると網を引き上げることができないほど大漁だった。これはペテロたちが最初にイエス様に呼ばれていた時と同じ。神様は彼らをイエス様と出会った時の原点に引き戻してくださいました。
そこでペテロは岸辺にいるのがイエス様だと気づき湖へ飛び込んだ。イエス様をきっぱり裏切ってしまった弟子たち。再び会うなんて恥ずかしくてとてもできないと思うよね。でも、神様は彼らの罪も汚さも弱さも責めることはせず一緒に朝ごはんを食べようとした。
私達も毎日の中で弱い部分や汚い部分、自分の罪に気づかされることがあるだろう。でも、そういう時こそ、イエス様が私達をゆるしたと、その命の原点に戻ろう!

2017/10/15(日)

ヨハネ 21:15-25

弟子達と朝の食事を済ませた後、イエス様はペテロに「あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。」と言われました。かつてペテロは「たとい全部の者がつまずいても、私はつまずきません」と言いました。しかし、彼は大きくつまずきました。ペテロは「私があなたを愛することは、あなたがご存知です」と言うのが精一杯でした。
「あなたはわたしを愛しますか」はペテロにのみ語られているのではなく、私達もペテロと同じように語られています。ペテロと同様、自信を持って「愛します」とは到底言えないでしょう。しかしペテロと同じように聖霊に拠り頼み、イエス様から目を離さないで、イエス様を心から信じ、従っていきましょう。

